

令和6年度 病害虫発生予察注意報第1号

令和6年4月4日
静岡県病害虫防除所長

病害虫名：カンザワハダニ
対象作物：茶

1 注意報の内容

- (1) 発生が予想される地域：県内全域
- (2) 発生が予想される時期：4月
- (3) 発生程度：多い
- (4) 防除時期：4月上中旬

2 注意報発表の根拠

- (1) 令和6年3月上中旬に行った巡回調査では、茶株の樹冠面における寄生葉率が県平均2.3%（平成0.9%）、裾部における寄生葉率が県平均4.5%（平成1.1%）と平成より多かった（表1）。地域別では、牧之原及び小笠・磐田原地域の雌成虫の樹冠面平均寄生葉率がそれぞれ3.8%（平成比12.7倍）及び3.7%（同6.2倍）と特に高かった。
- (2) 本種を捕食する天敵のカブリダニ類の発生は、3月の調査時点では確認できていない（平成の平均叩き落とし虫数0.05頭/4か所）。
- (3) 名古屋地方気象台によると、1か月予報（3月21日発表）では、降水量は平成より多いものの、気温は平成より高いため、発生が助長される恐れがあり、今後も注意が必要である。

3 防除方法

- (1) 発生状況をよく観察し、樹冠面で寄生を確認した場合は速やかに防除を実施する。薬剤の選択に際しては、摘採前日数に注意する。
- (2) 薬剤感受性の低下を避けるため、作用機構分類コードを参照し、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。薬剤については静岡県農薬安全使用指針・農作物病害虫防除基準を確認する。
- (3) 凍霜害等を受けた茶園では、被害を受けなかった新芽にハダニが集まり集中加害することがあるので、防霜対策を万全にする。

表1 3月上中旬における県内各地域のカンザワハダニの発生状況

		雌成虫平均寄生葉率（%）					
	地域	富士山麓	静岡市 北部	牧之原	小笠・ 磐田原	川根	県全域
樹冠面	本年	1.7 ¹⁾	1.0	3.8	3.7	1.1	2.3
	平成	1.4	0.9	0.3	0.6	1.3	0.9
	平成比	1.2	1.1	12.7	6.2	0.8	2.6
裾部	本年	3.0	2.0	6.2	7.2	4.0	4.5
	平成	1.3	0.6	1.3	0.8	1.6	1.1
	平成比	2.3	3.3	4.8	9.0	2.5	4.1

1) 各地域の数値は、調査地点10地点の平均値。県全域は全50地点の平均値。



図1 カンザワハダニ雌成虫
(茶業研究センター提供)



図2 カンザワハダニの被害
(茶業研究センター提供)

問い合わせ先：静岡県病虫害防除所 (TEL: 0 5 3 8 - 3 6 - 1 5 4 3)
--